

Combi 横型おむつ交換台OK21F 施工説明書

この度はCombi 横型おむつ交換台OK21シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はさまざまなお子さま連れのかたがご使用になりますので、皆さまが快適にご使用いただくためには、お施主さまの安全管理が大切です。本書の内容に従って正しく施工管理して下さるようお願いいたします。

コンビウィズ株式会社

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

1 安全に施工していただくために

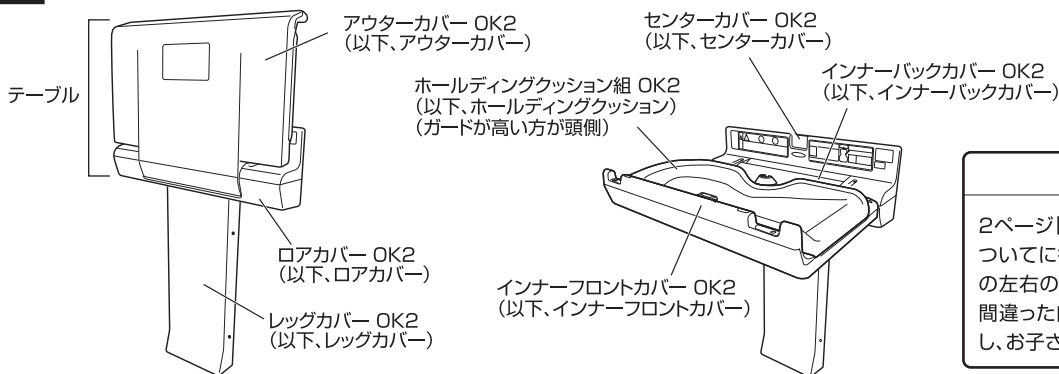
ここに示した注意事項は、施工方法、及び取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

警告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

2 施工者のかたへのお願い

警告	● 製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	● 製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	● 故障した製品は、放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、ケガや重大事故の原因になります。
	● 目的以外の用途での使用はおやめください。

3 各部のなまえ



警告
2ページ「4工事説明」設置場所(取り付け範囲)についてに従って施工時にホールディングクッションの左右の向きを適正な方向にセットしてください。間違った向きにセットすると、誤った使い方を誘発し、お子さまが落下するおそれがあります。

付属部品 ※付属品に含まれていない取付ネジ類については別途で用意ください。

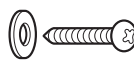
六角ナット(M10)、
スプリングワッシャー、
ワッシャー……2セット



U字ワッシャー
……5個
※勾配対応



タッピングネジ(φ5×35)、
ワッシャー(φ5用)
……6セット



荷物マークS 日英中韓OK2
(以下、荷物マークステッカー)
……2枚



警告Sおむつ交換乳児日英中韓
S-3002(以下、警告ステッカー)
……1枚



誘導案内S BS 日英中韓
(以下、誘導案内ステッカー)
……2枚



説明マニュアルOK2
(保証書付)……1部



施工説明書OK2F
(本紙)……1部

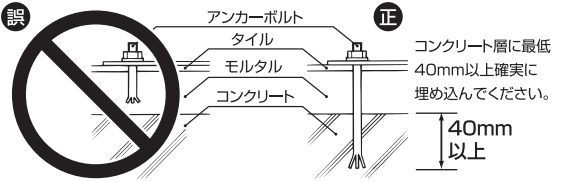


4 工事説明

●製品は床面だけでなく必ず壁面にも固定してください。床面だけの固定では転倒するおそれがあります。

●床面のアンカーボルトは、コンクリート層へ確実に固定できる（最低40mm以上）長さのものを選んでください。モルタル層などへ固定すると、転倒のおそれがあります。

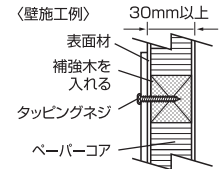
〈床施工例〉 誤



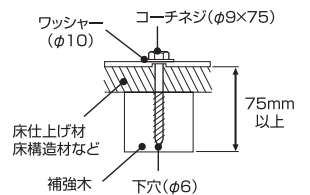
●コンクリート以外の壁面は下地補強を行ってください。

※1カ所設置あたり150N(15kgf) [6カ所固定]に耐えられる強度。守らないと転倒するおそれがあります。

●タッピングネジを使用して乾式工法の壁に取り付ける場合は、固定位置に必ず軽量鉄骨（間柱または横桟）あるいは補強用の合板等を入れてください。守らないと転倒するおそれがあります。



●タッピングネジを使用してパーティション壁に取り付ける場合はタッピングネジ固定位置に30mm以上の補強木をすき間がないように入れてください。守らないと転倒するおそれがあります。



●木下地に施工する場合、次の条件を満たすことを確認してください。

床仕上げ材（フローリング合板など）、床構造材（パーティクルボードなど）、補強材（角材など）あわせて75mm以上の厚みがあることを確認し、指定の方法にて取り付けてください。守らないと転倒するおそれがあります。

●引抜耐力のない（打ち込み先の補助木が木口面など）床には施工しないでください。守らないと転倒するおそれがあります。

●木下地に施工する場合、床下に付帯設備（床暖房など）が敷設されている床には施工しないでください。

●他の製品（同様のおむつ交換台など）から付け替える場合、壁強度の確認は必ず行ってください。

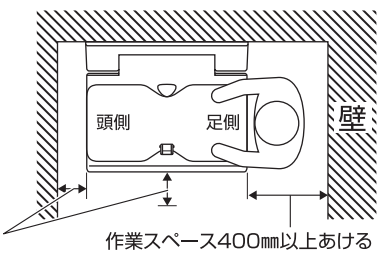


警告

組立終了後、製品表面を乾がきして、ほこりを取りのぞいてください。

設置場所（取り付け範囲）について

頭部側と側面側50～70mm、または200mm以上あげる。
※お子さまの指や腕、または頭が挟まれにくい寸法です。



作業スペース400mm以上あげる



警告

●便器・洗面台を使用する場所ではそれらを利用する時、必ず製品が視野に入るように設置してください。
●紙おむつを捨てられるゴミ箱を設置する場合は、製品の近くに設置してください。ゴミ箱が近くにないと、汚れたおむつを捨てるため保護者がお子さまから離れるおそれがあります。



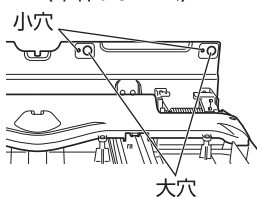
注意

●ドアを開いたとき、製品とドアが接触しない位置に設置してください。ドアにぶつかると製品が破損するおそれがあります。

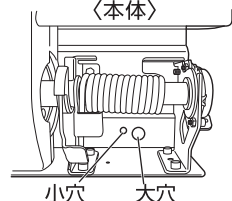
壁面への取付ネジ類一覧

※①製品の付属部品（タッピングネジとワッシャー）以外は別途ご用意ください。

〈本体フレーム〉



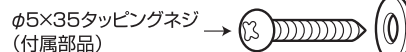
〈本体〉



上部4カ所の固定におねじアンカーは使用できません。右記②～④参照。
下部、2カ所の穴は本体を閉じると正面から工具が使えます。

① パーティション・石膏ボード 取付

●タッピングネジ 小穴6カ所



〈パーティションの補強〉

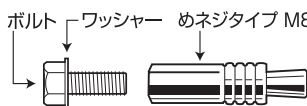
内部に30mm以上の補強木を入れてください。
※「4 工事説明」の警告内容を必ず確認すること

〈石膏ボードの補強〉

軽量鉄骨に固定、またはコンパネ(t12以上)、鉄板(t2,3以上)で補強してください。

② コンクリート 取付

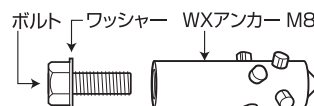
●M8アンカー 大穴6カ所



警告
コンクリート層へ確実に固定できる（最低30mm以上）長さのものを選んでください。

③ ALC 取付

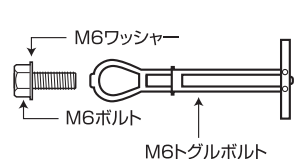
●ALC専用アンカー 大穴6カ所



打込棒で打ち込むと、8つの爪が突き出し固着する

④ 中空ブロック 取付

●トグルボルト 小穴6カ所

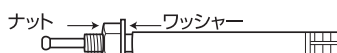


右記①～④は壁面の種類

床面

コンクリート

●M10アンカー 3カ所 おねじタイプ



※長さの選定は「4 工事説明」の警告欄をご覧ください。

木

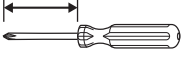
●コーチネジ 5カ所



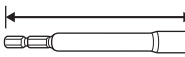
※長さの選定は「4 工事説明」の警告欄をご覧ください。

5 設置手順


必要工具 手動プラスドライバーNo.2
110mm以上



ボックスレンチのソケット
115mm以上(M6用・M8用)



スパナ
(M6用・M8用・M10用)



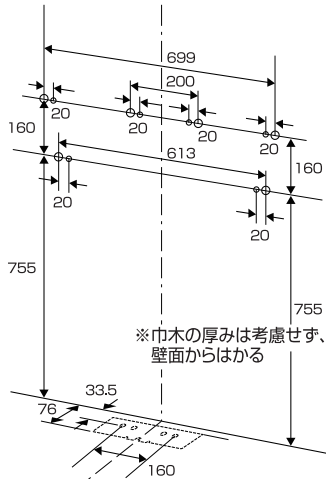
六角棒スパナ
(呼び3mm)



注意

- 製品を締結するときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。
- 下記長さ以上の工具(マグネット付き)をご用意ください。短いと取り付けが困難になる部位(ロアカバーとフレームの固定2カ所)があります。
- ・パーティション・石膏ボード取付の場合
ドライバー:軸長110mm以上
- ・コンクリート、ALC、中空ブロック取付の場合
ボックスレンチ:ソケット長115mm以上、ソケット幅M6~M8使用

1 床面と壁面にしるしを付けます。



- パーティション、石膏ボードの場合
小穴6カ所にしるしを付けてください。
- コンクリート、ALCの場合
大穴6カ所にしるしを付けてください。

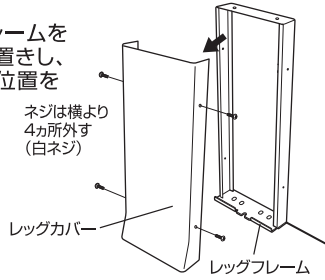
注意

床勾配を考慮の上、製品が水平になるようにしるしを付けてください。

2 ①レッグフレームからレッグカバーをはずす。

- ②床にアンカーを打ち込む。
※木下地の場合は②を飛ばして項目③に進みます。

レッグフレームを床面に仮置きし、床面の穴位置を確認。



注意

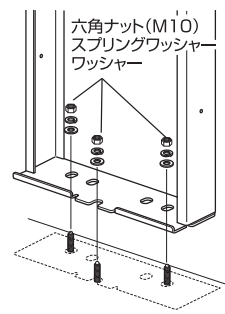
レッグカバーをはずすときは、ネジの塗装がはがれないように気を付けてください。



アンカー類は付属品ではありません。床面に合わせてご用意ください。

3 レッグフレームを床面に固定します。コンクリートの場合:計3カ所、木下地の場合:計5カ所

■コンクリートの場合

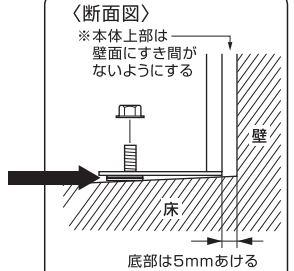
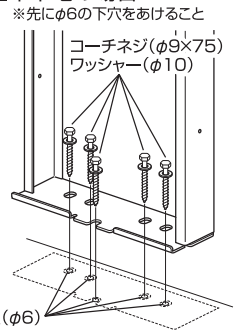


ナット、コーチネジ、ワッシャー類は付属品ではありません。別途ご用意ください。

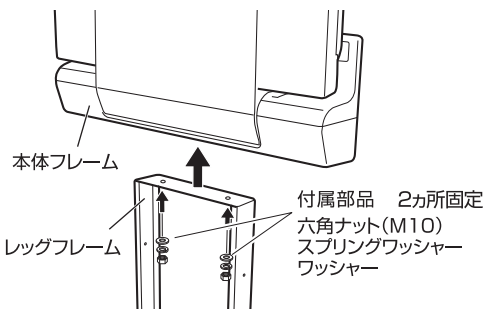
勾配対応は、付属品のU字ワッシャー(1~5枚)

スパナ(M10用)を使用

■木下地の場合



4 本体フレームとレッグフレームを組み立てます。



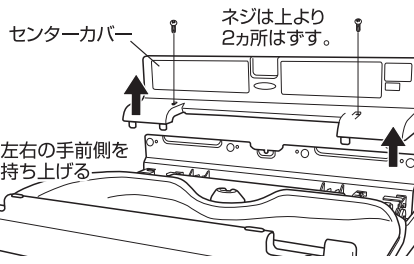
注意

本体を持つとき、ホールディングクッション部分を持たないでください。凹みや傷が付くおそれがあります。

スパナ(M10用)を使用

5 センターカバーをはずし、本体フレームを壁面に固定します。計4カ所

センターカバーをフレームからはずす。

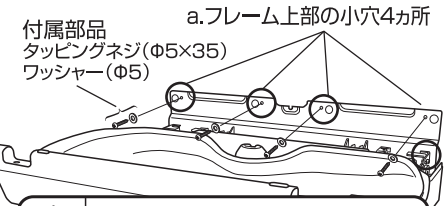


注意

はずしたネジは⑦で組み付けの際にまた使いますので、なくさないようにしてください。

プラスドライバー(No.2)を使用

固定方法は2ページ「4工具説明」壁面への取付ネジ類一覧を参照。下記は付属品のタッピングネジ(Φ5×35)、ワッシャー(Φ5)を使用した場合。アンカー使用の場合は別途ご用意ください。



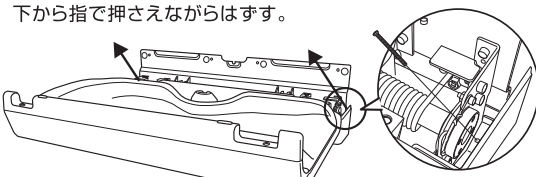
注意

取り付けネジを使用する場合は12mm以上出ないように打ち込んでください。それ以上出ると、センターカバーが取り付けられなくなります。

6 ロアカバーをはずし、本体フレームを壁面に固定します。計2カ所

ロアカバーをフレームからはずす。

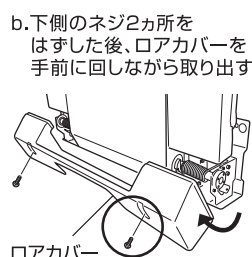
- a. 斜めの位置にあるネジ2カ所を下から指で押さえながらはずす。



注意

床・壁とも固定部にゆるみがないことを確認してから次の作業に進んでください。

プラスドライバー(No.2)を使用



注意

テーブルを閉じた際、壁とテーブルの間には多少のすき間があくように出荷時から設定されております。決してテーブル部を無理に壁面に押し付けしないでください。製品が破損するおそれがあります。

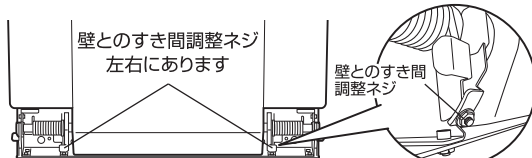
- b. 下側のネジ2カ所をはずした後、ロアカバーを手前に回しながら取り出す
- c. 本体を閉じて、フレーム下部の小穴2カ所をとめる

付属部品
タッピングネジ(Φ5×35)
ワッシャー(Φ5)

壁の削り落ちなどが本体に入らないようにしてください。

7 <テーブルを閉じた際の音が気になる場合は>図の位置にある壁とのすき間調整ネジをゆるめて、テーブルと壁とのすき間を開く方向で調整してください。

注意 取り付ける壁の種類によっては、テーブルを閉じた際に壁を傷つけたり、壁に当たる音が気になる場合があります。その場合は「壁とのすき間調整ネジ」を開く方向に調整することで壁とのすき間をあけることができます。



壁とのすき間調整ネジを調整することで、テーブルを閉じた際の壁とのすき間を開けることができます。

必要工具

スパナ (M6用)



六角棒スパナ (呼び3mm)



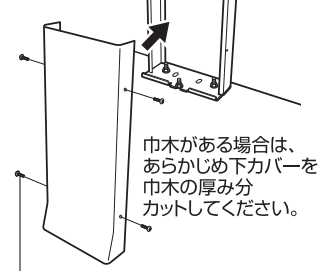
「壁とのすき間調整ネジ」はゆるめていくことでは必ずしも可能です。必ずすることでテーブルを閉じた際のすき間をなくすことができます。

位置が決まったらナットを締め付けて固定します。ゆるみのないように締め付けたことを確認してください。壁とのすき間調整ネジが板金に左右均等に当たるように調整してください。

注意 「壁とのすき間調整ネジ」をはずす場合は、テーブルを閉じた際に壁を傷つけたり大きな音がしないことを十分確認してください。

8 ①レッグカバー、②ロアカバー、③センターカバーの順に組み付けます。

①レッグカバーを取り付ける。



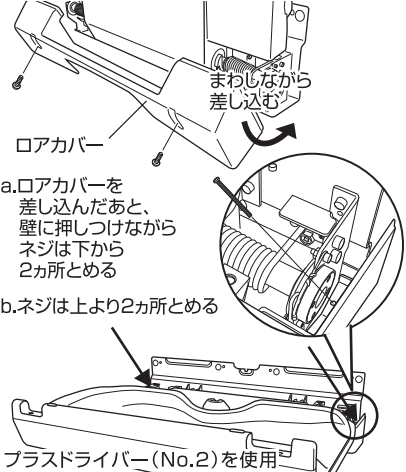
巾木がある場合は、あらかじめ下カバーを巾木の厚み分カットしてください。

a.ネジは横より4か所とめる。(白ネジ)

注意 レッグカバーをとめるときは、ネジの塗装がはがれないように気をつけてネジ止めしてください。

プラスドライバー(No.2)を使用

②ロアカバーを取り付ける。



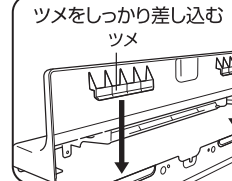
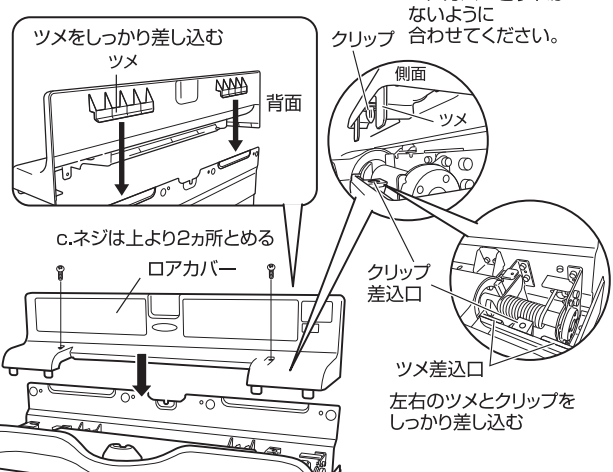
ロアカバー

a.ロアカバーを差し込んだあと、壁に押しつけながらネジは下から2か所とめる

b.ネジは上より2か所とめる

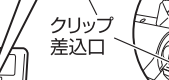
プラスドライバー(No.2)を使用

③センターカバーを取り付ける。



c.ネジは上より2か所とめる

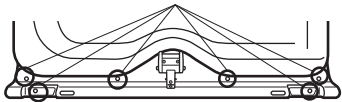
ロアカバーとずれがないように合わせてください。



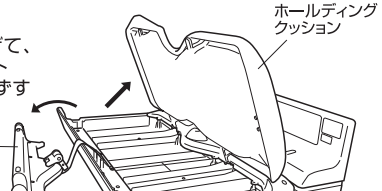
左右のツメとクリップをしっかり差し込む

9 ホールディングクッションの向きを変更する場合、インナーフロントカバーを取りはずしてから、ホールディングクッションを取りはずして逆向きにしてください。

①インナーフロントカバーよりネジ6か所はずす。



②ホールディングクッションを上げて、インナーフロントカバーを取りはずす



③ホールディングクッションを逆向きにする



プラスドライバー(No.2)を使用

④ホールディングクッションとインナーフロントカバーを合わせる

両手で左右を合わせながら⑤へ

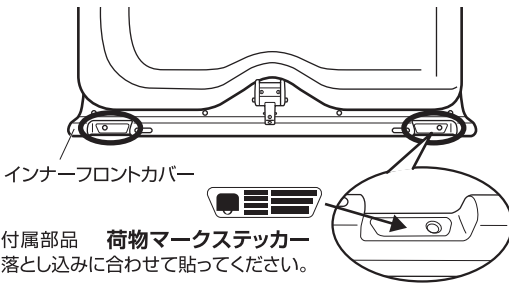
⑤インナーフロントカバーをアウターカバーに差し込む



⑥再びネジ6か所固定

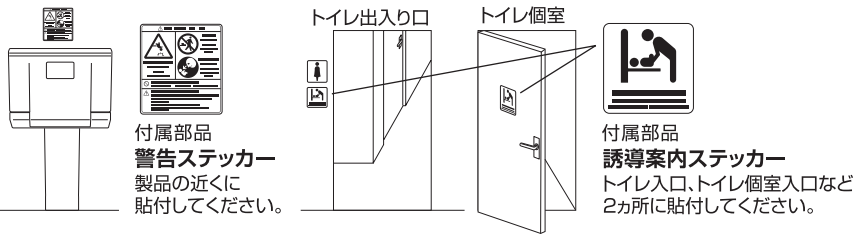
注意 ホールディングクッションをドライバーで傷つけないようにご注意ください。

10 インナーフロントカバーの荷物掛け部分2か所に、荷物マークステッカーを貼ります。



付属部品 荷物マークステッカー 落とし込みに合わせて貼ってください。

11 製品近くに警告ステッカーを貼付します。トイレ出入口と個室入口に誘導案内ステッカーを貼付します。



付属部品 警告ステッカー 製品の近くに貼付してください。

付属部品 誘導案内ステッカー トイレ入口、トイレ個室入口など2か所に貼付してください。

警告 取り付け完了後は必ず点検マニュアルの日常点検(7ページ)を参照の上、点検してください。施工が不完全のまま使用された場合、ケガや重大事故の原因になります。

●製品に関するお問い合わせ

コンビウィズ株式会社

本社/〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7

URL/ www.combiwith.co.jp

●修理・点検に関するお問い合わせ / コンビウィズ(株) サービスセンター

[受付時間] 祝祭日を除く、月~金 10:00~17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

○本書に記載されている文章、イラスト等の無断転載を禁止します。

(A4) 140686290 200220(1)